

唐津市の特徴や誇れるもの

○ 平成28年11月30日に唐津く
んちの曳山行事がユネスコ無形文
化遺産に登録されました。



- 今年度紹介する相知町には、以下の誇るものがある。
 - ・ 日本の滝百選に選ばれ、梅雨の時期は約4万株のアジサイが色とりどりに咲く見帰りの滝
 - ・ 佐賀県指定史跡であり9世紀に空海が彫刻したといわれる鶴殿石仏群うどのせきぶつぐん
 - ・ 平均傾斜が約14° というそそり立つように石垣で築かれ国の重要文化的景観わが国のに選ばれている蔵野の棚田

伊岐佐小学校の取組

・平成28年度は、伊岐佐について学ぶ「ふるさと学習」に取り組みました。

6月に相知市民センターから講師を招き、弥生時代や平安時代の伊岐佐の様子について話をうかがいました。

弥生時代の伊岐佐には巨大な権力をもつ王がいたとのこと。平安時代には近くを流れる伊岐佐川の砂鉄を使った製鉄産業で大いに栄えていたことなどを教わりました。

子どもたちは、王の墓から出土した管玉や土器の実物に触れ、「初めて知りびっくりした。」や「故郷はすごいんだ。」など、驚きの中に伊岐佐に対する愛着を深めたようでした。



講師の黒田係長の説明に目を輝かせる子どもたち

教育委員会所在地:唐津市南城内1番1号

連絡先:0955-72-9158

学校数: 小学校 33校、中学校 18校

相知小学校の取組

・平成18年から、相知小学校の3・4・5年生は、アザメの瀬について学習をしています。学校近くに流れる松浦川の水かさが上がった時に川から水があふれるようにして一時的に水がたまる地区をアザメの瀬と言います。



アザメの瀬を調べた
成果発表の様子

魚や貝を捕まえたり水稲耕作を行ったり体験を通して自然環境を学習しています。

相知中学校の取組

・本校1年生は、総合的な学習の時間で町のことを学びます。

6月に、相知町が誇る町切水車や蔵野の棚田、アザメの瀬についてフィールドワークを行ないました。専門家の方の説明を受けることで、身近なものを再発見する機会となりました。



10月には「相知を知ろう」発表会を行い、それぞれが調べたテーマについて、意見交流を行いました。

唐津市の特徴や誇れるもの

- 佐賀県の北西部にあり、大陸との玄関口として古くから栄えてきた。玄界灘の美しい海に面し、松浦川や玉島川の豊かな水源、虹の松原の深い緑、そして7つの島々を有する自然環境豊かな都市である。
- 美しい自然に恵まれ、古くから大陸との行き来が盛んだったことで、農業や水産業を中心にした産業や大陸の文化を取り入れた伝統的な文化が育った。特に、「唐津焼」は、安土桃山時代に茶道が流行したことから発展し、「一楽二萩三唐津」と格付けされるほどの名品となった。
- 特別名勝に指定されている「虹の松原」を始めとする自然や、「唐津城」、国の特別史跡「肥前名護屋城跡並びに陣跡」など数々の見どころがある。また、漆や金銀箔で飾られた豪華絢爛な14台の曳山がまちなかを練り歩く「唐津くんち」を始め、「呼子大綱引」などの歴史ある祭りも多く開催されている。

教育委員会所在地:唐津市南城内1番1号

連絡先:0955-72-9158

学校数: 小学校 33校、中学校 18校

切木小学校の取組

切木小学校では、「ふるさと切木を学ぼう・ふるさと切木に誇りをもとう」のテーマで地域学習に取り組んだ。

地元で有名な「切木ぼたん」の学習では、「ようこそ先輩」として地域の先生から花の歴史や栽培方法を学び、2年生では生活科の時間に「切木ぼたん団子作り」にもチャレンジし、切木の良さに気づいたり、触れたりすることができた。



唐津市の郷土学習教材

郷土につくした人々
ふるさと唐津の偉人たち
(平成18年作成)



内容(全126ページ)
:郷土の偉人(31人)
:郷土の発展に貢献した素晴らしい偉人を紹介し、唐津に育つ子ども達に誇りをもたせる。



市内の各小学校では、朝の読書活動の読み物資料や、道徳、社会、総合的な学習の時間等で有効活用している。
市内には辰野金吾が建築に関わった旧唐津銀行等の歴史的建造物や日本最古の水田跡がある菜畑遺跡等が数多くあり、それらを見学したり、郷土の偉人や歴史、文化を学習したりすることで、郷土を愛する子ども達の育成に努めている。

馬渡小中学校の取組

馬渡小中学校では、「郷土を愛する心を育てる教育」を推進するため、小学3・4年生は総合的な学習の時間を利用し、地域産業を体験するキャリア教育の一環として「アワビの養殖」を行っている。

また、小中学校の全校児童・生徒で「トラフグの稚魚放流」や「島内清掃」にも取り組み、馬渡島の産業や自然を学ぶことで、馬渡島に生まれ、馬渡島への誇りをもつ児童・生徒が育っている。

